

日韓高校生文化 PR アワード 2022

Presented by SAMYANG JAPAN

事業報告書

日韓高校生文化 PR アワード実行委員会

株式会社三養ジャパン (Samyang Foods Co., Ltd.) / SNOW Japan 株式会社 (SNOW Corp.)
タクトピア株式会社 / 株式会社どこがく / 独立行政法人日本学生支援機構 (文部科学省)
株式会社セブン-イレブン・ジャパン / 駐横浜大韓民国総領事館 (大韓民国外交部)
神奈川韓国総合教育院 (大韓民国教育部) / 独立行政法人国際交流基金 / 神奈川新聞社
東明女子高等学校 / 山手学院中学校・高等学校 (ボランティア部)

目次

1. はじめに	4
2. 事業概要	5
3. ロゴ・スローガン	6
4. 理念	7
5. 予選について	9
6. 本大会について	10
7. 広報関連	14
8. 報道関連	16
9. 運営関連	17
10. 評価と考察	19
11. おわりに	20

[別紙]

1. 収支報告
2. 審査結果
3. 参加者アンケート報告

1. はじめに

日韓高校生文化 PR アワードは日本と韓国の高校生を対象とし「文化」をテーマに新しい国際交流プログラムです。新型コロナウイルス感染症により従来のような往来型のプログラムの開催が難しい今日、インターネットを活用しオフラインとオンラインを融合させた新しい国流プログラムを開催した。

日本と韓国は共通の価値観を共有する隣国であり、双方における文化の流入は日々行われている。アワードではそのような文化に焦点を充て、相互理解を最終目標として交流活動を行った。音楽・ドラマ・キャラクター等のコンテンツ分野から、料理・衣服・言葉等伝統的な分野まで多岐に渡り、日韓文化の共通点や相違点を考察した。

予選では自分の身近にあり関心のある日本文化（J-Culture）、韓国文化（K-Culture）のどちらかについて紹介した。本大会では、予選で選択したジャンルは変えずにJとKを入れ替えて、その文化について調べ理解を深めた上で比較と考察を行った。

自分を理解し、相手を理解する。ここで生まれる相互共有は小さなものに過ぎないが、こうした小さな理解の積み重ねが大きな理解に繋がると考えている。

2. 事業概要

名 称：日韓高校生文化 PR アワード 2022 Presented by SAMYANG JAPAN

目 的：日韓の高校生の相互理解を最終目標としている。本事業はそのためのアクションの1つであり、オンラインでの開催で、実際に各国の高校生とのコミュニケーションを通じて、メディアや教科書から学ぶ知識を越え、それぞれの価値観や文化、考え方の差異を学ぶ。新型コロナウイルス感染症の影響で各国の往来が途絶え、国際交流が見送られることが多くなってしまった今日だが、本事業との出会いから厳しい関係が続く両国の関係に若者が興味を持ち、考えるきっかけとなることを目的とする。

日 時：予 選 2022 年 01 月 26 日（水）～03 月 17 日（木）
本大会 2022 年 03 月 27 日（日）10:00～15:00（JST, UTC+9）

会 場：オンライン（配信会場：山手学院中学校・高等学校）

主 催：日韓高校生文化 PR アワード実行委員会

所 管：山手学院中学校・高等学校（ボランティア部） / 東明女子高等學校

特別協賛：株式会社三養ジャパン（韓国本社, Samyang Foods Co., Ltd.）

協 賛：SNOW Japan 株式会社（韓国本社, SNOW Corp.）
タクトピア株式会社
株式会社どこがく

協 力：独立行政法人日本学生支援機構（文部科学省）
株式会社セブン-イレブン・ジャパン

後 援：駐横浜大韓民国総領事館（大韓国外交部）
神奈川韓国総合教育院（大韓民国教育部）
独立行政法人国際交流基金
神奈川新聞社

公式サイト：<https://jp.culturepraward.com>（日本語）

3. ロゴ



スローガン

Share and Respect Together.

私たちはそれぞれ違う場所に住んでいます。
しかし、空を見上げてみると空は青くどこまでも続いています。
そして、その空は私たちの世界を包み込んでいます。

国境も言葉の壁も存在しない自由な空。
そのような願いを込めてロゴ・スローガンを作成しました。

4. 理念

ミッション

互いの価値観を理解・尊重し、共有し合える世界をつくる

ビジョン

「小さな相互理解」から「大きな相互理解」へ

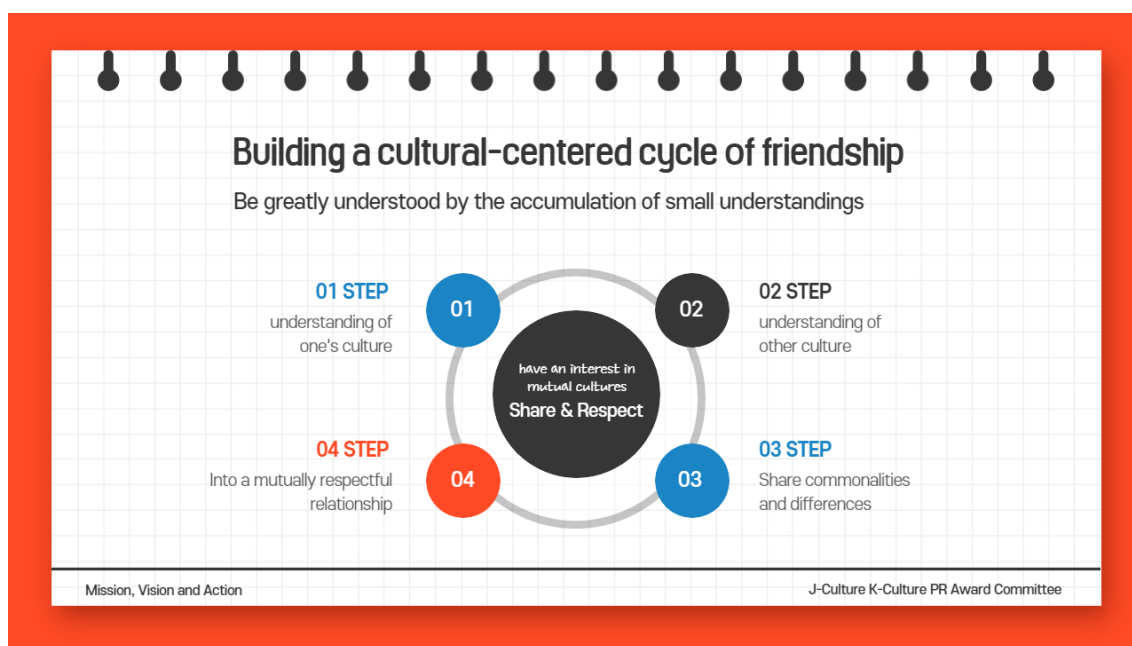
「小さな相互理解」のきっかけの場となる

アクション

「文化」は境界がなく、誰にとっても身近な存在である。

私たちは、「文化」を通じてミッション・ビジョンの達成を目指します。

私たちが目指す姿



ストーリー

「共通点がある＝理解しあえる」ではない。同じなんて、ありえない。

全く違う場所で育った少年達は留学先で出会いました。

自分の国の文化と相手の国の文化が互いに融合して成り立っていることに気づいた少年たちは「文化」を通じて意気投合しました。そこには「憎しみ」や「悲しみ」はなく、「理解」と「尊重」がありました。そして「友情」がうまれました。

新型コロナウイルスで往来が途絶えてしまっている今、メディアや教科書から得た情報で他国を認識し評価してしまいます。このプロジェクトはこうした現況に対する疑問から誕生しました。

コンセプト

「文化」は境界がなく、誰にとっても身近な存在ではないでしょうか。

「文化」、それは人々を繋ぎます。あなたはいま、どこで何をしていますか？

音楽を聴く、ドラマを見る、ごはんを食べる。

私たちは日々、たくさんの「文化」に触れています。

時には相手を尊敬し、時には相手を恨んだりするかもしれません。

しかし、私たちが創り出す「文化」は、同じ瞬間、空間が違えども、境界も、言語も超え、異なる相互の私たちをひとつに繋がります。

人々は「文化」を愛し、そしてまたその「文化」を創りながら成長します。

「文化」を通じて相互理解を目指す高校生の物語にお付き合いください。

5. 予選について

A) 概要

自分の好きな文化をテーマにショート動画（90 秒以内）を作成して提出するという内容。参加者それぞれ思い思いの J-Culture, K-Culture を動画内で PR した。（60 秒を満たしていないものは不可。動画における表現の仕方は問わない。）

B) 参加資格

- ・ 日韓で在学する高校生（2022 年 02 月の時点において高校生であることが条件）
- ・ 言語能力は問わない

C) 応募形態

- ・ 応募は個人、またはチームで行った。
- ・ 1 チーム 1 人～3 人で構成されるものとし、（チーム内の学年の違いは問わない）

D) 応募方法

- ① はじめに、公式サイトより参加登録を行う。（公式 LINE を友達追加する）
 - ② 続いて、提出期間内に公式 LINE の動画提出ページより応募手続きを行う。
- ※書面による応募は受け付けない。

E) 応募数等について

日本：公式 LINE にて参加登録を行ったのは、計 62 人。

韓国：公式カカオチャンネルにて参加登録を行ったのは、計 9 人。

⇒ 日韓で合計 71 人が参加登録。最終的には 20 チーム、計 32 人が参加。

F) 予選評価方法

- ・ 選択した自分の好きな文化についてよくその魅力を PR されているか。
- ・ 応募条件に当てはまっているか。

※予選審査は実行委員会代表と副代表の 2 名で行った。

G) 応募作品について

K-pop カバーダンス・韓国ドラマあるある・韓国料理・文化比較・伝統文化 など

6. 本大会について

A) 概要

日 時：2022 年 03 月 27 日（日）10：00 ～15：00（JST, UTC+9）

場 所：オンライン（Zoom）

集 合：09：50（JST, UTC+9）

参加数：9 チーム（14 人）※日本：6 チーム，韓国：3 チーム

B) タイムスケジュール

第 1 部	10:00	開会
	10:30	特別講演
	12:00	休憩
第 2 部	12:40	プレゼンテーション発表
	14:00	参加者交流会
	14:30	結果発表・講評
	15:00	閉会

C) 審査内容

予選審査であなたがなぜその文化を選択したのかを説明する。

予選審査時に選択しなかった方（J-Culture, K-Culture）を選択し、予選審査で選択したジャンルで紹介して下さい。選択したジャンルにおける日韓文化の共通点・相違点を考察して下さい。

D) 発表例

花子さんは予選審査で J-Culture, J-POP を PR した。この場合、本大会では K-Culture, K-POP を選択し、調査し纏める。選択したジャンルにおける日韓文化の共通点・相違点を考察する。

E) 発表形式

プレゼンテーションは 5 分以上 10 分以下とした。当日にオンラインにて発表を行う形式。発表は、日本語または韓国語とする。発表資料には英語も併記することとした。

F) 審査基準について

以下の点を教育的意図とし、また本大会審査における評価ポイントとしました。

区分	審査内容	得点
A	自分の好きな文化について理解し、伝えているか	5
B	相手における自分の好きな文化についてよく調べ、理解しているか	5
C	発表が A, B の両方の内容を尊重しているものであるか	5
D	発表を通じ A, B の両方について共有されているか	5
E	各事業者様が参加者に求める姿であるか	5

G) 審査委員のご紹介（敬称略）

	氏名	所属
審査員長	柳 赫秀	神奈川大学大学院 外国語学研究科 欧米言語文化専攻（比較言語文化） 神奈川大学 国際日本学部 国際文化交流学科 教授
副審査員長	高 海正	株式会社三養ジャパン 代表取締役社長
審査員	今井 詩文	株式会社三養ジャパン 事業推進グループ マーケティングチーム
審査員	大塚 紗穂	株式会社三養ジャパン 事業推進グループ マーケティングチーム
審査員	大庭 梨和	株式会社三養ジャパン 事業推進グループ マーケティングチーム
審査員	上野 来夢	SNOW Japan 株式会社 マーケティング部
審査員	大久保 未優	SNOW Japan 株式会社 マーケティング部



配信会場の様子

提供：統一日報

H) 特別講演について

神奈川大学の柳赫秀教授より「足元をしっかりと見つめながら、trans-national な生き方を！」というテーマにて特別講義を頂戴した。

講演者：柳 赫秀 教授

所 属：神奈川大学大学院 外国語学研究科 欧米言語文化専攻（比較言語文化）
神奈川大学 国際日本学部 国際文化交流学科

テーマ：足元をしっかりと見つめながら、trans-national な生き方を！

時 間：約 90 分

言 語：日本語及び韓国語

[プロフィール]

大韓民国京畿道龍仁生まれ。延世大学政法学部を出て、1980 年文部省奨学生として来日し、東京大学大学院法学政治学研究科で修士課程と博士課程を修了する（法学博士）。専門は、国際法、国際関係（日韓関係）、外国人の人権などである。

1989 年 4 月から横浜国立大学で教鞭をとり、2019 年 3 月退職し、同年 4 月から神奈川大学に赴任する。現在は神奈川大学 国際日本学部 国際文化交流学科 教授である。1995 年から 1 年半 Harvard Law School で、2003 年から 1 年間 Johns Hopkins University で客員研究員として過ごした。

「豊かさ」は、選択肢があり多様性が許される社会でのみ享有できるものと信じており、今の望みは、40 年以上定住している日本と韓国がともに真の豊かな社会となり、その中で両国の若い世代がのびのびと生きることである。



特別講演 柳 赫秀 教授

提供：統一日報

I) 副賞について

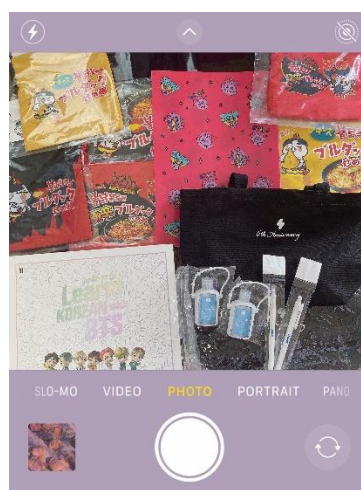
区分	チーム (人)	内容品	提供事業者
1 位	1 (1)	アマゾン商品券 (¥20,000)	(株)三養ジャパン
		ブルダック炒め麺 等のセット※1	(株)三養ジャパン
		SNOW オリジナルグッズセット※2	SNOW Japan (株)
		Learn! KOREAN with BTS	駐横浜大韓民国総領事館
		ホチ オリジナルグッズ	(株)三養ジャパン
2 位	1 (2)	ブルダック炒め麺 等のセット※1	(株)三養ジャパン
		SNOW オリジナルグッズセット※2	SNOW Japan (株)
		Learn! KOREAN with BTS	駐横浜大韓民国総領事館
		ホチ オリジナルグッズ	(株)三養ジャパン
3 位	1 (1)	ブルダック炒め麺 等のセット※1	(株)三養ジャパン
		SNOW オリジナルグッズセット※2	SNOW Japan (株)
		ホチ オリジナルグッズ	(株)三養ジャパン
参加賞 A	6 (10)	ブルダック炒め麺 ランダム 4 食	(株)三養ジャパン
		SNOW オリジナルグッズセット※2	SNOW Japan (株)
		ホチ オリジナルグッズ	(株)三養ジャパン
参加賞 B	11 (18)	ホチ オリジナルグッズ	(株)三養ジャパン

参加賞 A：本大会に出場した参加者様が対象

参加賞 B：予選にご応募頂いた参加者様が対象

※1：区分によってそれぞれ配布量（食数）が異なる，種類は共通

※2：区分によってそれぞれ配布量（個数）が異なる，種類は共通


 を使って撮影


提供：入賞者

7. 広報関連

A) オンライン（一部抜粋）

媒体名	URL
HP	https://jp.culturepraward.com
	https://kr.culturepraward.com
YouTube	https://www.youtube.com/channel/UCg1j3nPcma5rczTi97Wv-UQ
Instagram	https://www.instagram.com/culturepraward_jp/
	https://www.instagram.com/culturepraward_kr/
note	https://note.com/culturepraward
Twitter	https://twitter.com/culturepraward
TikTok	https://www.tiktok.com/@culturepraward
LINE	https://page.line.me/?accountId=004aexep
Kakao channel	https://pf.kakao.com/_xmSTxfb
プレスリリース（三養ジャパン）	https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000042.000056173.html
日本留学情報サイト Study in Japan	https://www.studyinjapan.go.jp/ja/other/external/000150.html
JASSO Japan Educational Information Center, Seoul 公式サイト	https://www.jasso.or.kr/sub/sub04_01.php?mode=view&idx=870&ckattempt=1
駐横浜大韓民国総領事館 公式サイト	https://jpn-yokohama.mofa.go.kr/jp-yokohama-ja/brd/m_936/view.do?seq=760905&page=2
駐日韓国文化院 公式サイト	https://www.koreanculture.jp/info_event_view.php?cate=&page=2&number=5544&keyfield=
WEVITY（イベント告知サイト）	https://www.wevity.com/index_university.php?c=find&s=_university&gbn=viewok&gp=3&ix=59978
山手学院中学校・高等学校 Facebook	https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=507705264395233&id=108484850983945

B) オフライン

媒体名	配布形態	学校数	実施者
ポスター	郵送	12	山手学院中学校・高等学校 ボランティア部
	E-mail	40	タクトピア株式会社 / 株式会社どこがく

강미리 바로 "한일 고교생 문화 PR 어워드"에서 검색하세요!

J-Culture K-Culture
PR Award
2022 募集中

日韓高校生文化PRアワード / 한일 고교생 문화 PR 어워드
Presented by SAMYANG JAPAN Co., Ltd

© 2022 Dongmyung Girls' High School × Yamate Gakuin Senior High School

自分の好きな J or K - Culture の
ショート動画を撮って応募しよう!

予選応募締切日 ※延長決定!
2022.03.17 THU JST/KST 23:59

Instagram @culturepraward_jp

1位 | 韓国訪問 (航空券) + 賞品
(賞品: K-Food + SNOWオリジナルグッズ + 韓国コスメ等)
2位 | 賞品 (約 ¥10,000)
3位 | 賞品 (約 ¥5,000)

公式 LINEを友達追加して応募しよう!
詳しくはQRコードからHPを確認!

本大会 | 2022.03.27 SUN
JST/KST 10:00 ~ @オンライン

特別協賛 株式会社三養ジャパン (韓国 Samyang Foods Co., Ltd)
協賛 SNOW Japan 株式会社 (韓国 SNOW Corp.) / タクトピア株式会社 / 株式会社どこがく
協力 独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) / JASSO 韓国ソウル事務所 / 株式会社セブンイレブン・ジャパン
後援 駐横浜大韓民国総領事館 (大韓民国 外交部) / 駐神奈川韓国総合教育院 (大韓民国 教育部) / 神奈川新聞社

新型コロナウイルスの状況により開催内容に変更がある場合がございます。予めご了承ください。
本応募物は日本国内向けに作成しています。日本国内は山手学院中学校・高等学校 ボランティア部が
所管しています。(〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町460 ☎045-891-2111)

JP/JA

※画像はイメージ

8. 報道関連

媒体名	日付	URL
校外プログラム大全	2022/02/04	https://kininarukotomatome.com/japan-korea-high-school-student-culture-pr-award-2022-c0201/
朝日中高生新聞	2022/02/20	紙面のみ
タウンニュース	2022/03/03	https://www.townnews.co.jp/0112/2022/03/03/614706.html
産経新聞	2022/03/23	https://www.sankei.com/economy/news/220322/prl2203221154-n1.html
統一日報	2022/04/06	http://news.onekoreanews.net/detail.php?number=89896&thread=01r04

[illegible]

提供：統一日報

9. 運営関連

A) 概要

主催団体である日韓高校生文化 PR アワード実行委員会は、所管団体である山手学院中学校・高等学校 ボランティア部の管理監督のもと公正な運営を行った。韓国の運営においては東明女子高等学校が所管した。

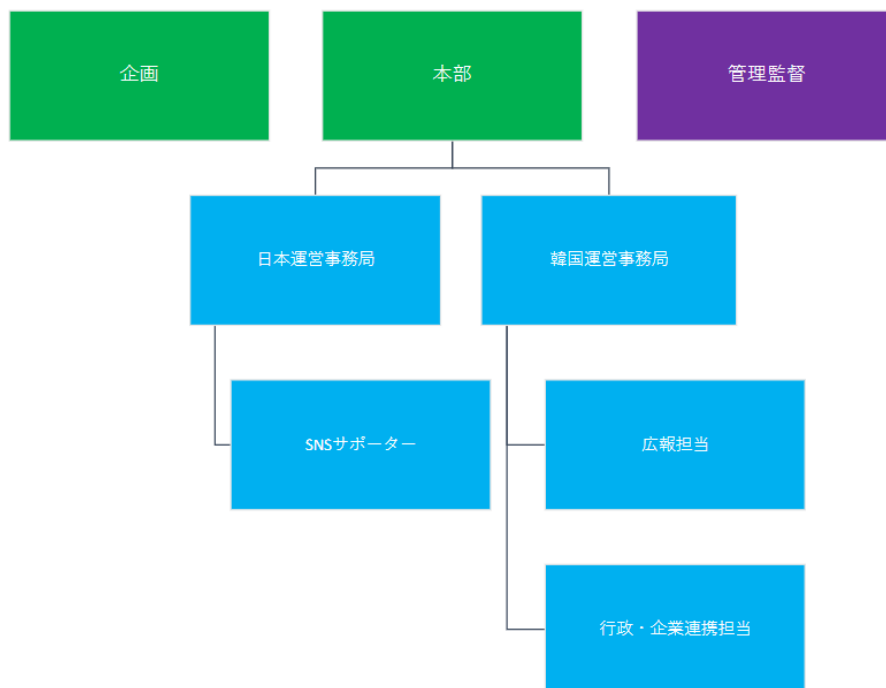
B) 主催団体

	氏名	所属
代表	寶積 應公	山手学院中学校・高等学校
副代表	朴 秀珉	東明女子高等學校

C) 所管団体（敬称略）

	氏名	所属
学校長	時乗 昭洋	山手学院中学校・高等学校
学校長	チ ヘソン	東明女子高等學校
顧問教諭	小原 太美恵	山手学院中学校・高等学校
担当教諭	權 世桓	山手学院中学校・高等学校
担当教諭	イ チャンジュン	東明女子高等學校

D) 組織概要



E) 安心して参加して頂くための取り組み

CS サイトにて公開した。

応募規約：<https://cs.culturepraward.com/jp/terms>

個人情報保護方針：<https://cs.culturepraward.com/jp/privacy>

F) お問い合わせの対応

公式 LINE アカウント（カカオチャンネル）を活用した。

その他、公式 LINE 無料通話・お問い合わせフォーム・メールにて対応した。

10. 評価と考察

本アワードは、日本と韓国の高校生が自国文化の理解と相手文化の理解を通じて、互いに繋がり合うことを目標に開催した。環境も言葉も違う両国であるが、アワードでは日韓それぞれから参加した高校生が「文化」をツールにコミュニケーションを図った。

日本と韓国の高校生が共に相手国に対し興味を抱いていることがアンケートの結果から分かった。これは本アワードが目的とした「高校生の相互理解」の第1歩として十分な成果が得られたと言える。こうした日韓の学生が繋がり合うことのできる舞台はたくさんあるべきであると我々は考える。

「自分を理解、そして相手を理解できる」、それが相互理解であり信頼に繋がる。まずは相手に関心を持つこと。そしてまた、自分について見つめ直すこと。人と人の「小さな理解」の積み重ねがやがて「大きな理解」へ成長すると我々は考える。

日本と韓国の「Share & Respect Together」が更に深まる日が訪れることを願って、引き続き取り組んでいきたい。

最後に、本アワードを開催するにあたり多大なるご支援を頂きました全ての皆様へ厚く御礼申し上げます。

今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

11. おわりに

韓日文化をテーマに相互理解と交流活性化のため、両国の高校生が自らの力で開催した「日韓高校生文化 PR アワード」が参加者はもちろん、両国の大勢の方々のご協力とご支援もと、成功裏に開催されましたことを心よりお祝い申し上げます。

最近の韓日関係は両国メディアが「国交正常化以来最悪」というほど厳しい状況です。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、両国間の往来と交流が途絶えてしまったこの時期に開催された「日韓高校生文化 PR アワード」は駐横浜大韓民国総領事館で両国の自治体・民間団体の友好交流促進を担当している私にも大きな感動とたくさんの気づきを与えてくれました。特に、今回のイベントを企画・実施した寶積君が初めて総領事館を訪問し、イベントの趣旨と計画を説明しながら協力を要請した時には、高校生とは思えないほどの素晴らしいビジョンと実行力、そして、韓日相互理解のために実際に動いているという事実に変驚きました。

未来は現在の問題意識と変化を望む強い気持ちに基づく小さな行動で決まります。韓日関係には多くの葛藤と認識の違いが存在します。ところが、このような状況を変えていくために、まずは自分にできることを実践し、その中で生まれた人との繋がりを大事にしていけば韓国と日本はきっと良い隣人であり、一番仲の良い友達になれると確信します。そして、その未来の中心に皆様と一緒にいることを期待いたします。

한국과 일본의 문화를 매개로 한 상호이해와 교류 활성화를 도모하기 위해 한일 중고등학생이 자발적으로 개최한 “일한고교생문화 PR 어워드”가 참가 학생들은 물론, 한일 양국의 많은 분들에게 큰 응원과 축하를 받으며 성공적으로 마치게 되어 다시 한 번 축하합니다.

한일관계가 양국 미디어로부터 “수교 이래 최악”이라고 보도될 만큼 힘든 시기, 더욱이 코로나 19 팬데믹으로 양국 국민들의 상호 방문과 교류가 멈추어 버린 지금 시기에 개최된 “일한고교생문화 PR 어워드” 행사는 주요코하마대한민국총영사관에서 한일 지역 자치단체・민간 우호교류 촉진 업무를 담당하고 있는 제게도 큰 영감과 감동을 주었습니다. 특히 이번 행사를 기획하고 시행한 호우즈미군이 처음 총영사관을 방문해 한일교류행사 개최 취지와 계획을 설명하고 협찬을 요청했을 때, 고등학생이 이 정도의 비전과 실행력으로 한일 상호 이해 증진을 위해 실제 실천하고 있다는 사실에 크게 놀랐습니다.

미래는 현재에 대한 문제의식과 변화를 갈망하는 작은 실천으로 만들어집니다. 한일관계 또한 아무리 많은 갈등과 인식의 차가 내재되어 있다 하더라도 이러한 상황을 걱정하고 변화시키기 위해 내 주변에서 할 수 있는 것들을 실천하고 그 소중한 인연들은 계속 이어간다면 한일관계는 분명 이웃이자 가장 가까운 친구로 발전시켜 나갈 수 있다고 확신합니다. 그리고, 그 미래의 한 가운데에 바로 여러분들이 함께 서 있을 것을 기대합니다.

大韓民国 外交部

駐横浜大韓民国総領事館 韓 相赫 領事





独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

SEVEN-ELEVEN JAPAN CO., LTD.



駐横浜大韓民国総領事館
Consulate General of the Republic of KOREA



神奈川韓国総合教育院
The Korea Education Institution in Kanagawa

JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

神奈川新聞社



山手学院中学校・高等学校 ボランティア部
Yamate Gakuin Junior and Senior High School Volunteer Club

Dongmyung Girls' High School

jp.culturepraward.com

日韓高校生文化 PR アワード2022 事業報告書

発行日 : 2022/06/20

発行元 : 日韓高校生文化 PR アワード実行委員会

編集 : 日韓高校生文化 PR アワード日本運営事務局

日韓高校生文化 PR アワード実行委員会

- ・ 日本運営事務局

〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町460 山手学院中学校・高等学校

info.jp@culturepraward.com

+81 80 1340 2305

- ・ 韓国運営事務局

〒03-390 ソウル特別市恩平区統一路 793 東明女子高等学校

info.kr@culturepraward.com

+82 10 9120 7099

本誌内で記載している商標・登録商標は所有する各事業者に帰属します。

JP/JA

事業名: 日韓高校生文化PRアワード2022 Presented by SAMYANG JAPAN
主催団体名: 日韓高校生文化PRアワード実行委員会
所管団体名: 山手学院中学校・高等学校 (ボランティア部) / 東明女子高等学校

山手学院中学校・高等学校 ボランティア部

本事業の収支状況について、次のとおり計上しております。

顧問教諭 小原太美恵 印

※金額表示単位: 円

代表生徒 寶積應公 印

収入の部

項目	金額	積算内訳	内訳金額
協賛金	112,624		
合計	112,624		

支出の部

項目	金額	積算内訳	内訳金額
広告費	35,932	ポスター制作費	2,150
		HP運営・管理費	20,930
		SNS運用費	12,852
開催費	76,692	昼食費(お弁当)	18,300
		会場費(機材)	2,788
		オンラインミーティング導入費	2,200
		通信費(切手)	1,960
		副賞費(商品券)	20,000
		郵送費	17,630
		交通費	10,000
		雑費(賞状用紙/段ボール/テープ/ファイル)	3,814
合計	112,624		

収支差額:

0

別紙 2 審査結果

1, 受賞者とその発表テーマについて

	チーム名	氏名	テーマ	所属	地域
1 位	Mirai Ohishi	大石 光莉	日韓で人気のキャラクターとその逆輸入	八洲学園大学国際高等学校	沖縄県
2 位	RINHANA	立花 花 橋口 凌	日韓の VTuber	長崎県立対馬高等学校	長崎県
3 位	nyanchi	植田 菜生	J-POP と K-POP	東京都立東高等学校	東京都

2, 1 位チームの解説

韓国で支持されている日本のキャラクターを取り上げていた。韓国で爆発的な人気になると、SNS で日本にもすぐに伝わったと述べ、熊本で誕生したキャラクターが日本より先に韓国で人気となり、日本に逆輸入されたケースなどについて紹介。どのようなキャラクターがそれぞれの国で人気を得るのかなど、日韓のキャラクター比較を行った。



© Mirai Ohishi

<発行元>

日韓高校生文化 PR アワード実行委員会

日本運営事務局（山手学院中学校・高等学校ボランティア部）

〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町 460 山手学院中学校・高等学校 1 号館 4F

電話:080-1340-2305(代表) FAX:045-743-1139

別紙 3 参加者アンケート報告

A) アンケート 1 に関する調査分析

[実施概要]

期間：2022 年 1 月 26 日～2022 年 03 月 17 日

対象：参加者全員（必須）

目的：広報状況を把握するため。

様式：オンライン/1 問

N 数：20

実施：日韓高校生文化 PR アワード実行委員会

B) アンケート 2 に関する調査分析

[実施概要]

期間：2022 年 04 月 17 日～2022 年 04 月 21 日

対象：参加者全員（任意）

目的：アワードへの満足度等を調査し、次年度の開催に役立てるため。

様式：オンライン/6 項目 40 問程度

所要：約 10 分程度

N 数：12

お礼：ホチのオリジナルグッズ ※提供：株式会社三養ジャパン様

実施：日韓高校生文化 PR アワード実行委員会

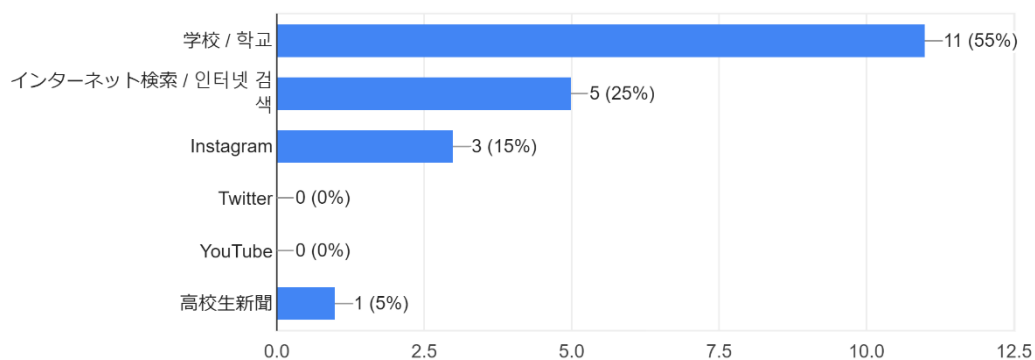
C) 考察

A) アンケート 1 に関する調査分析

1. このアワードについてどこで知りましたか？

このアワードについてどこで知りましたか？ / 이 어워드에 대해서 어디서 아셨어요?

20 件の回答

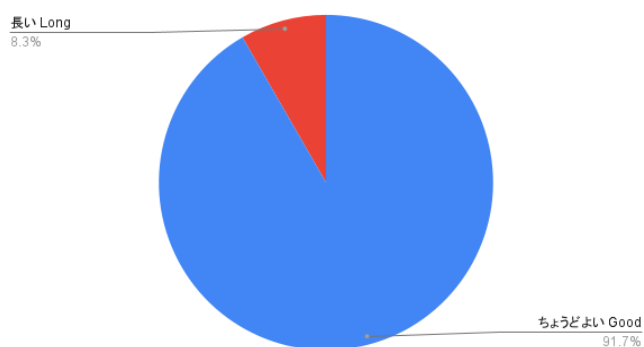


B) アンケート 2 に関する調査分析

1. 予選に関する項目

① 募集期間はどうか？

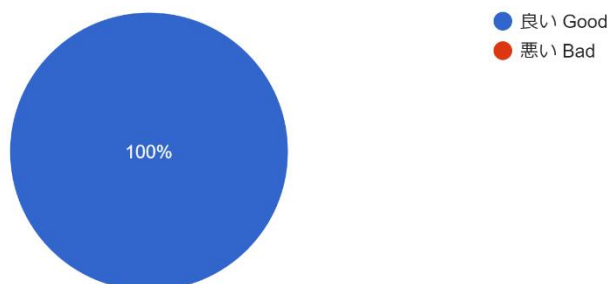
募集期間はどうか。모집 기간은 어떨습니까?



② 応募形式はどうか？

応募形式はどうでしたか。예선 형식은 어땠습니까?

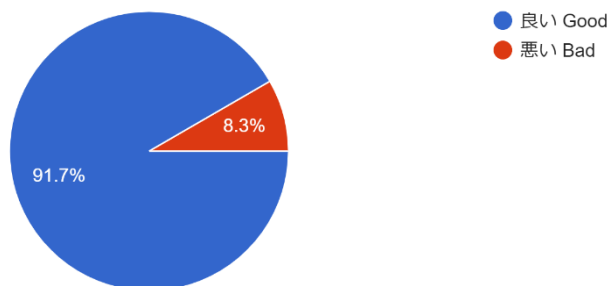
12 件の回答



③ 予選内容はどうでしたか？

予選内容はどうでしたか? 예선내용은 어땠습니까?

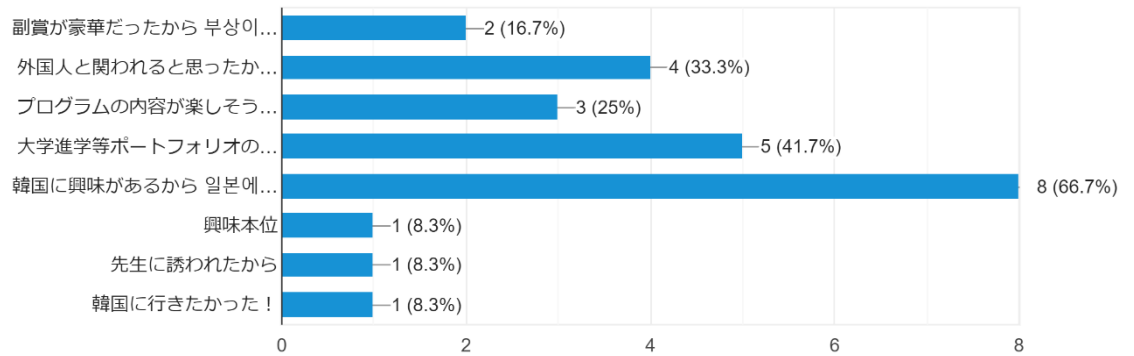
12 件の回答



④ 参加の決め手は何ですか？

参加の決め手はなんですか。참가의 결정적인 방법이 뭐죠?

12 件の回答



【選択肢】

- ・ 副賞が豪華だったから
- ・ 外国人と関われると思ったから
- ・ プログラムの内容が楽しそうだったから
- ・ 大学進学等ポートフォリオのため
- ・ 韓国（日本）に興味があるから
- ・ その他

⑤ ご意見等ございましたらお書きください。

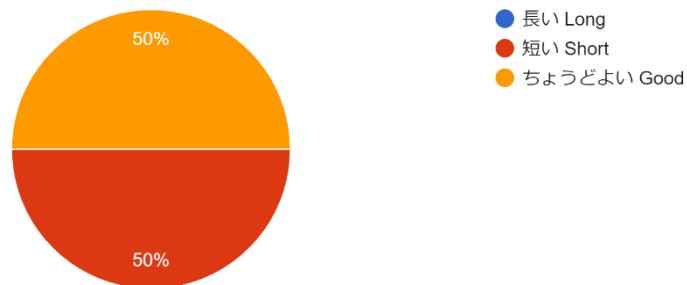
- ・ 誤った情報が流れることが多かったです。もう少し情報が整理されていると助かりました。

2. 本大会に関する項目

① 予選結果発表から本番まで準備期間はどうでしたか。

予選結果発表から本番まで準備期間はどうでしたか。예선 결과 발표부터 실전까지 준비기간은 어땠어요?

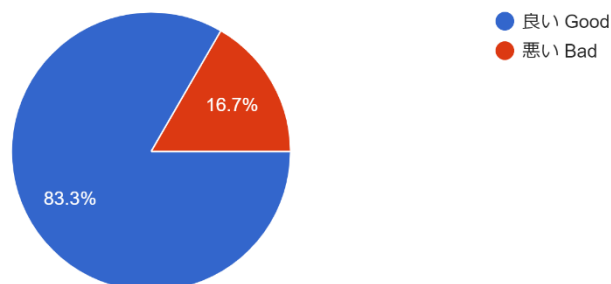
12 件の回答



② 本大会の内容（オンライン発表）はどうでしたか。

本大会の内容（オンライン発表）はどうでしたか。본선 내용(온라인 발표)은 어땠어요?

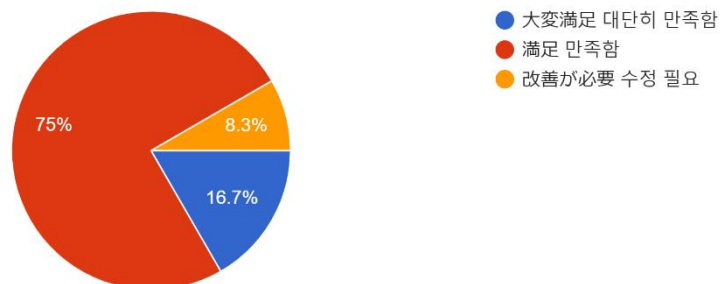
12 件の回答



③ 副賞の充実度はどうですか。

副賞の充実度はどうですか。상품의 충실도는 어떤가요?

12 件の回答

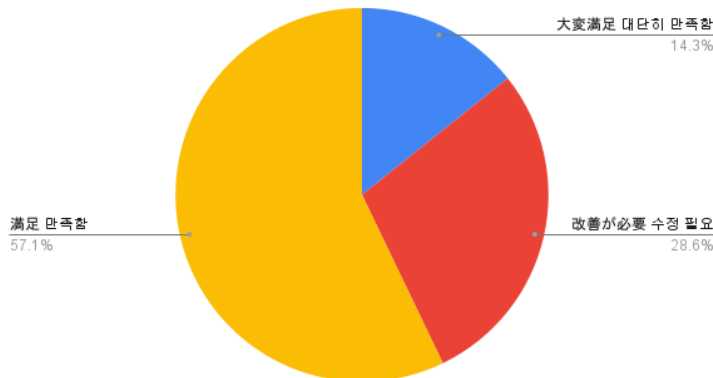


- ④ 「改善が必要」と回答された方にお聞きします。具体的に教えてください。

・1位と2位の副賞の差がひどい。

- ⑤ 特別講義はどうでしたか。

特別講義はどうでしたか。교수님의 특강은 어땠어요?



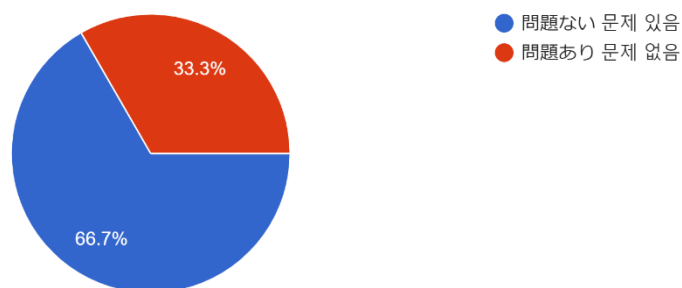
- ⑥ 「改善が必要」と回答された方にお聞きします。具体的に教えてください。

- ・オンラインの接続状況に一部問題があった。
- ・話の内容が理解できなかった。
- ・教授のお話は興味深く面白かったですが、パワーポイントもしくは教授の顔が見えにくく、ただ声だけを聞いていたので事前に資料をメールにて送付するか、画面がちゃんと見えているか確認してほしいです。

- ⑦ 当日の進行状況はどうでしたか。

当日の進行状況はどうでしたか。당일 진행상황은 어땠어요?

12件の回答



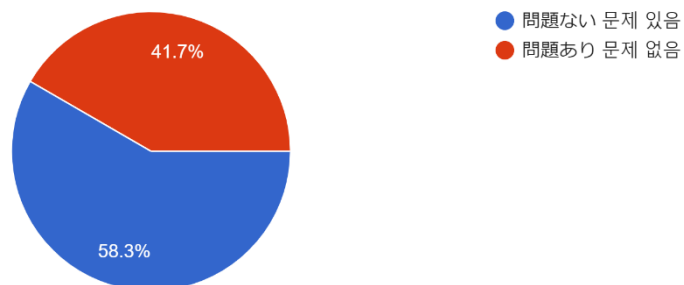
⑧ 「問題あり」の方にお聞きします。具体的にどこがどのように問題であったか教えてください。

- ・インターネットの接続状況に一部問題があった。
- ・制限時間の超過した参加者に対し静止していなかった
- ・オフライン会場（配信会場）のスタッフの連携が取れていないように感じた。
- ・音響、画面など一部聞こえない時があった。

⑨ オンラインでの開催でしたが、接続状況に問題はありませんでしたか。

オンラインでの開催でしたが、接続状況に問題はありませんでしたか。온라인으로 개최했습니다만, 혹시 접속 상황에 문제는 없는 것입니까?

12件の回答



⑩ 「問題あり」の方にお聞きします。具体的にどこがどのように問題であったか教えてください。

- ・インターネットの接続状況に一部問題があった。
- ・審査員の方の声がすごく遠くて聞こえない部分が多かったです。次回からはマイクの音をもう少し大きくすると思った。

3. 国際理解に関する項目

① 韓国に興味がありますか。(日本に関心がありますか?)

韓国に興味がありますか. 일본에 관심이 많습니까?

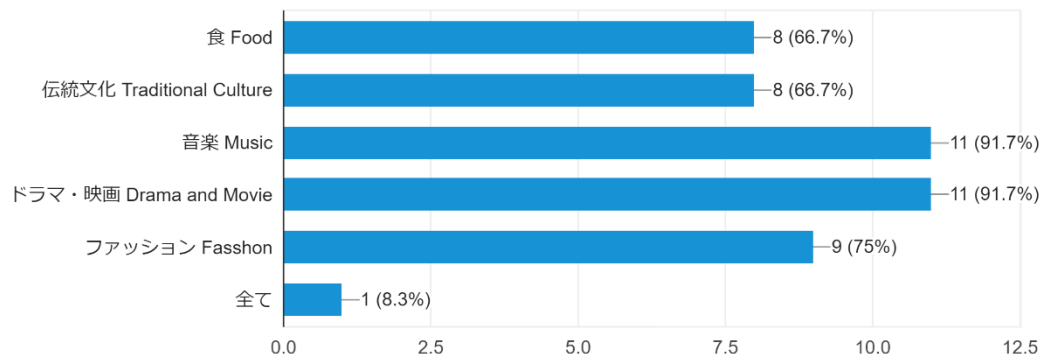
12 件の回答



② 「はい」と回答された方にお聞きします。具体的に興味のある分野をすべて選択してください。

「はい」と回答された方にお聞きします。具体的に興味...체적으로 흥미 있는 분야를 모두 선택하세요.

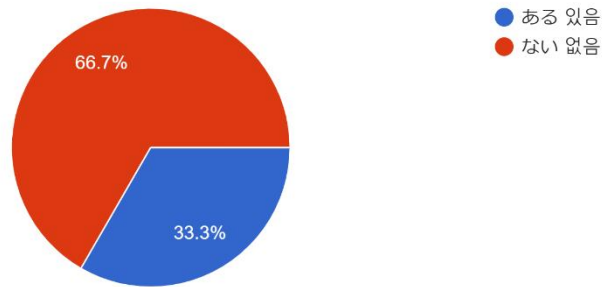
12 件の回答



③ 韓国（日本）に行ったことはありますか。

韓国に行ったことはありますか。일본에 간 적이 있습니까?

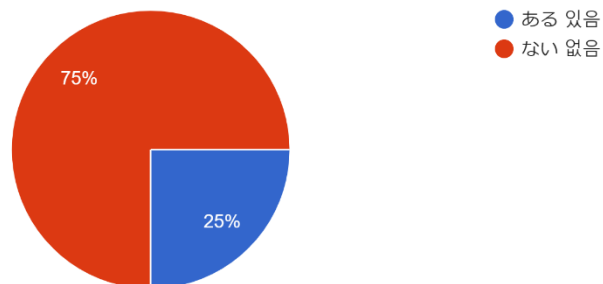
12 件の回答



④ プログラムに参加して自分の中で何か変化はありましたか。

프로그램에 참여하면서 제 안에서 무슨 변화가 있었나요?

12 件の回答



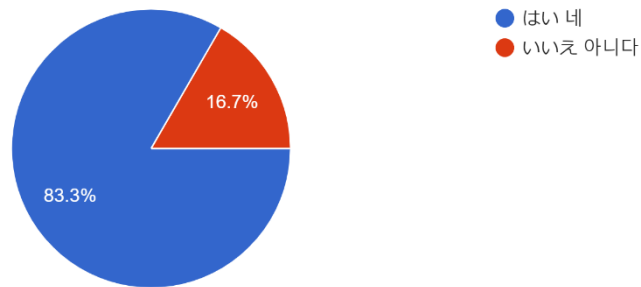
⑤ 「ある」と回答された方にお聞きします。具体的にどのような心境の変化がありましたか。

- ・ただ韓国が好きという漠然とした思いから、好きなだけでなく知りたい、また交流を持ちたいと思うようになった
- ・韓国の文化などを知ることで、日本の文化にも改めて興味が湧いたこと。もっと韓国について知りたいと思うと同時に、日本について知らない事が沢山あると感じました。

4. 運営体制に関する項目

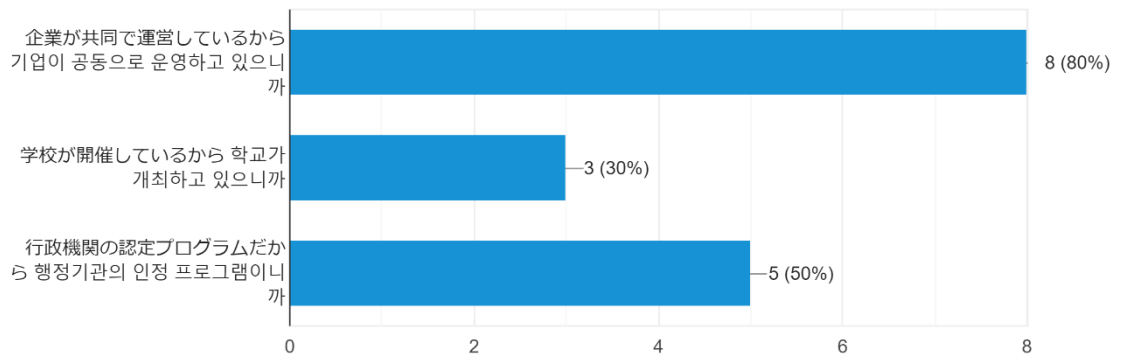
① 安心して本アワードにご参加頂けましたか。

安心して本アワードにご参加頂けましたか。안심하고 본 어워드에 참가하셨습니까?
12 件の回答



② 「はい」と回答された方にお聞きします。具体的にどのようなに安心感を持ちましたか。

「はい」と回答された方にお聞きします。具体的にどのようなに安心感を持ちましたか。"네"라고 대답하신 분께 여쭙보겠습니다구체적으로 어떻게 안도감을 가지셨나요?
10 件の回答



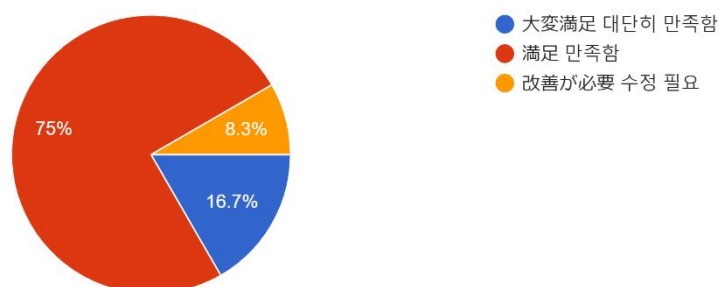
③ 「いいえ」と回答された方にお聞きします。具体的に教えてください。

- ・実行委員会からの案内に一部分かりにくい部分があり混乱した。

④ お問い合わせへの対応はいかがでしたか。

お問い合わせへの対応はいかがでしたか。문의에의 대응은 어땠습니까?

12 件の回答



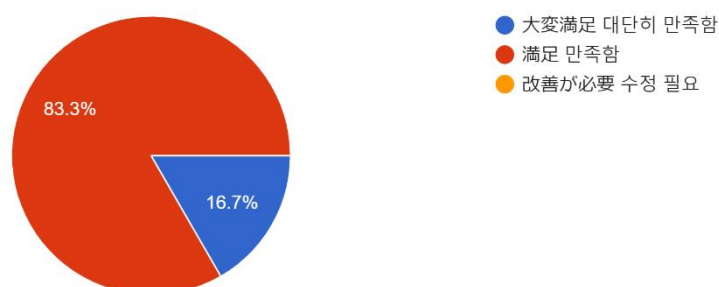
⑤ 「改善が必要」と回答された方にお聞きします。具体的に教えてください。

- ・スタッフの連携が取れていないように感じる場面があった。
- ・実行委員会からの案内に一部分かりにくい部分があり混乱した。

⑥ HP は見やすく・分かりやすいものでしたか。

HPは見やすく・分かりやすいものでしたか。HP는 보기 쉽고 알기 쉬운 것이었습니까?

12 件の回答



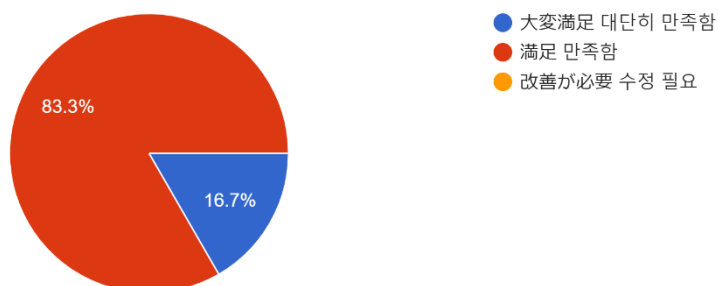
⑦ 「改善が必要」と回答された方にお聞きします。具体的に教えてください。

- ・回答なし

⑧ HPに掲載されている情報は分かりやすいものでしたか。

HPに掲載されている情報は分かりやすいものでしたか。홈페이지에 게재되어 있는 정보는 혹시 알기 쉬운 것이었습니까.

12件の回答



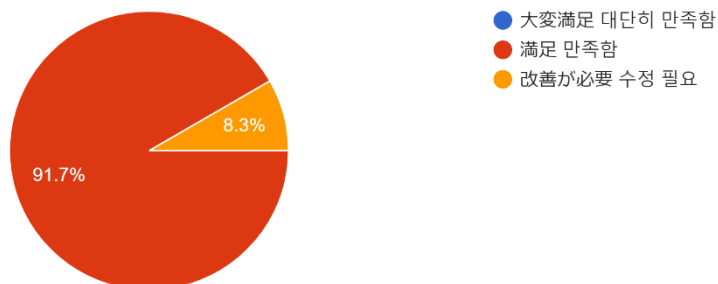
⑨ 「改善が必要」と回答された方にお聞きます。具体的に教えてください。

・回答なし

⑩ SNS・YouTube等のコンテンツは見やすく・分かりやすいものでしたか。

SNS・YouTube等のコンテンツは見やすく・分かりやすいものでしたか。SNS・YouTube 등의 콘텐츠는 보기 쉽고 알기 쉬운 것이었습니까?

12件の回答



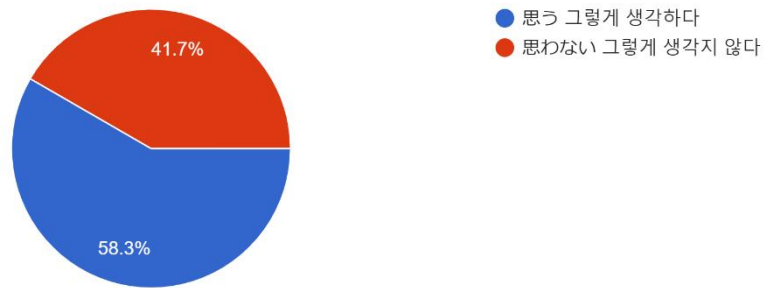
- ⑪ 「改善が必要」と回答された方にお聞きします。具体的に教えてください。
- ・企業の方からのメッセージ、応募方法等は分かりやすく良かったです。
 - ・目的とターゲットを決めて YouTube の動画を作ると良いと思います。
 - ・協賛している企業の皆さんはどれもすごく有名ですし、景品も他の日韓イベントより豪華なので、その強みをもっと全面に押し出した広報戦略を考える必要があると思いました。

5. 総合的な評価に関する項目

- ① 次回も参加したいと思いますか。

次回も参加したいと思いますか。 다음번에도 참여하고 싶으세요?

12 件の回答



- ② 友達に進めたいですか。

友達に進めたいですか。 친구로 추천하고 싶으세요?

12 件の回答



③ アワード全体を通じての感想をお書きください。

- ・日頃の自分の韓国への想いを表現できる良い機会でした。国際交流という点でも本場の方々と話せる機会をいただけて嬉しかったです。
- ・対応も素早くて参加しやすい形態でした。とてもいい経験になりました。
- ・いい機会だった！ただ、韓国語翻訳とオンライン進行をもっとスムーズに進めてほしい。
- ・本戦の内容が予選の文化と逆のものというのは難しいけれど面白いなと思いました。
- ・楽しかったです。
- ・テーマ自体もいいものだったし、面白そうだなと思って参加したものの運営も当日の進行もグダグダで終わった後その印象しか残らなかったのがとても残念だった。
- ・制限時間を守ってない人にはペナルティを課した方がいいと思った。
- ・企画は楽しかったが、案内等で不安になることが多かったです。
- ・自分がテーマとして選ばなかった韓国のことについて知ることができたと同時に、韓国の方から見た日本を知ることができてとても楽しかったです！
- ・今まで気付かなかった日本の良さや日韓の違いと共通点について知るきっかけになりました。日韓の学生同士で交流出来るのはすごく貴重な機会で、実際に参加されていた韓国の方と SNS で仲良くなってオンラインでお話することを通じて、「オンニ」とよべるようになったのですごく嬉しいです！
- ・これから、もっと多くの学生が参加して日韓の交流がより盛り上がるよう願っています。ファイティン!!
- ・難しかったです、参加できてよかったと思っています。楽しかったです。ありがとうございます。
- ・進行が遅くて落ちた点は少し残念だが全体的に無難だった。

④ 満足度を 5 段階で評価してください。(数字が大きくなると評価が高い)

評価平均 3.7/5.0

満足度 74%

C) 考察

1. 事業評価

2つの調査結果をもとに本事業は概ね成功を収めることができたと評価できる。広報活動が不十分であった点や、参加者の立場に立った案内情報の配信等について改善を行っていきたい。新型コロナウイルス感染症の影響で往来が途絶えてしまっている昨今だが、次世代を担う若者が交流することができる場の一助になることができた。

2. 日韓の学生の認識について

日韓に興味を持つ学生を対象とした本事業は、コンテンツや伝統文化等の Culture を対話の糸口とし、相互に魅力発信を行った。実際に両国を訪れたことのない学生が大半を占める一方で、インターネットを介したコンテンツ等への関心から次第に双方の国に対し関心を抱くようになっていた。

アンケートでは、「自分がテーマとして選ばなかった韓国のことについて知ることができたと同時に、韓国の方から見た日本を知ることができてとても楽しかった」、「今まで気付かなかった日本の良さや日韓の違いと共通点について知るきっかけになりました」などの声があった。このことから、相手を知るということは我が身を見つめ直すということに繋がると言えるのではないだろうか。

一方的な発信・受信ではなく、互いが互いに関心を持つことが大切であり、相互理解のための第一歩だと考える。

〈発行元〉

日韓高校生文化 PR アワード実行委員会

日本運営事務局（山手学院中学校・高等学校 ボランティア部）

〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町 460 山手学院中学校・高等学校 1 号館 4F

電話：080-1340-2305（代表）FAX:045-743-1139